



たんぽぽ

戸田市立喜沢小学校

令和8年3月24日

卒業式号

【学校教育目標】

「夢と希望をもち、
よりよい社会づくりに向け
行動する児童の育成」

卒業おめでとうございます

校長 加藤 貴嗣

卒業を祝うかのように、校庭の桜も開花の時を迎えようとしています。冬の間にしっかりと力を蓄えたつぼみが、春の訪れとともに花開こうとしている姿は、6年間の学びを土台に、中学校という新たなステージへ進もうとしている皆さんの姿と重なります。

3月24日、第58回卒業証書授与式を挙行了しました。小学校生活で積み重ねてきた努力と経験を糧に、卒業生一人一人が自分の可能性をさらに大きく花開かせようと、新しい生活へ歩み出しました。

一年間、6年生は喜沢小学校のリーダーとして、きざわんピック、きざわんコンサート、登校班、たてわり活動、きざわっこタイム、PBSキャンペーン、委員会活動など、様々な場面で全校児童の先頭に立ってくれました。常に下級生のお手本となる行動を示し、学校をよりよくしようとする姿は、多くの下級生の憧れとなっていました。

74名の卒業生一人一人が、自分の役割に責任をもち、仲間と協力しながら学校を支えてくれたことを大変誇りに思います。

2月27日の「6年生を送る会」では、入場する姿や合唱する姿など、立ち居振る舞いの一つ一つに6年間の成長が感じられました。1年生から5年生までの在校生が、歌やダンス、呼びかけなどで思い出と感謝の気持ちを伝え、卒業生はこれまでの日々を思い出しながら、にこやかな表情でその思いを受け取る心温まる時間となりました。

喜沢小学校では、「自分から考えて行動しよう」「自分もみんなも大切にしよう」「あきらめないでやりきろう」という3つの大切を大事にしています。本年度の6年生は、この3つをまさに行動で示し、学校のよき伝統をさらに高めながら、次のリーダーとなる5年生へ確実にバトンを引き継いでくれました。

卒業生の皆さんには、自分を大切にし、支えてくれた家族を大切にし、そして共に過ごした仲間を大切にしてほしいと思います。人を大切にすることが、自分の人生を支える大きな力になります。

これから皆さんが進む社会は変化の大きな時代です。だからこそ大切なのは、自分で考え、仲間と協力しながら、よりよい未来を創ろうとする姿勢です。喜沢小学校で学んだことは、そのための確かな土台になっています。

桜がそれぞれ違った花を咲かせるように、卒業生一人一人もそれぞれ違ったよさをもっています。自分の可能性を信じ、自信と希望をもって、それぞれの未来へ大きく羽ばたいてほしいと思います。

そして、夢と希望をもち、よりよい社会づくりに向けて自ら考え行動する人へと成長していくことを心から願っています。

校庭の桜が花開くたびに、卒業生の皆さんがこの喜沢小学校で過ごした日々を、ふと思い出してくれることがあればうれしく思います。

皆さんが残してくれた足跡は、この学校の大切な歴史としてこれからも受け継がれていきます。

卒業生の皆さん、今まで本当にありがとう。

保護者の皆様には、6年間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。卒業式では、立派に成長したお子様の姿を見ることができました。

お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げますとともに、卒業生の今後の活躍を教職員一同心より願っております。